

< 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第29回

ベニバナ



ベニバナはキク科に属する2年草で、花びらを集めたものが紅花です。

ベニバナの葉や萼には多くの棘があるため、朝露の乾く前に摘み取られます。摘み取られた花びらに水をかけて発酵後突き砕いて水洗いしますと、水溶性の黄色い色素(サフロールイエロー)が流れ出ます。

砕いた花びらには紅色色素(カーサミン)が残りますので、これを固めて乾燥させたものが紅花餅で、食品添加物として、又、口紅として用いられますし、産前産後の薬として、又、駆瘀血薬としても用いられます。

種子油(サフラワーオイル)は動脈硬化に良いと言われ、大量に輸入されています。

ターピンによる1700年代末の作品です。